



笹の葉

西東京市立保谷中学校

学校便り 2号

令和8年5月29日(金)

新しい学期が始まり、学校生活にも少しずつ慣れてきた頃だと思えます。授業、部活動、友人関係、委員会活動、そして進路のこと。毎日、思っている以上に忙しく、心も体もたくさんの力を使っています。

順調に進んでいる時もあれば、思うようにいかない時もあります。「前はできたのに、今日はうまくいかない」「やる気が出ない」「頑張っているのに結果が出ない」。そんな日もあります。

宮崎駿監督の映画『魔女の宅急便』に、主人公のキキが突然空を飛べなくなる場面があります。キキにとって魔法は、ただの不思議な力ではありません。それは、キキが自然に持っている力であり、自分らしく生きていくための大切な感覚です。だから、キキが飛べなくなったのは、飛び方という技術を忘れたからではありません。慣れない町で頑張り続け、人に気を遣い、自信をなくす中で、キキは少しずつ「自分らしさ」とのつながりを見失っていたのだと思えます。

そんなキキに、絵描きのウルスラは、「自分も絵が描けなくなる時がある」と話します。「描いて、描いて、それでもだめなら、いったん描くのをやめる。散歩をしたり、景色を見たり、何もしなかったりしているうちに、また描きたくなる時が来る」と伝えます。これは、皆さんの学校生活にも重なることだと思えます。うまくいかない時に、「自分には力がない」「もうだめだ」と決めつける必要はありません。力は、気持ちの状態と深くつながっています。心が疲れている時には、自分本来の力が出にくくなることがあります。

映画の最後で、キキは再び空を飛べるようになります。しかし、それは「悩みがなくなった」ということではありません。不安や迷いを抱えながらも、自分の力で前へ進めるようになったのではないのでしょうか。

私たちも同じです。いつも元気で、いつも完璧でいる必要はありません。うまくいかない日があってもいい。少し立ち止まる時があってもいい。大切なのは、自分を見失わず、「もう一度やってみよう」と思えることです。飛べない日があるからといって、飛ぶ力がなくなったわけではありません。皆さん一人一人にも、自分らしい力があります。その力を信じ、焦らず、比べすぎず、自分らしく前に進んでください。またやってみようと思える一歩を大切にしてください。

生徒総会 (生徒会担当)

4月30日(木)の5・6時間目に生徒総会を行いました。今回の生徒総会では、前半に各委員会の活動目標や活動内容の確認と承認を行い、後半には各クラスの学級目標の紹介を行いました。

前半の委員会に対する質疑応答では、事前に行った学級討議で出た質問や意見に対する回答を行いました。また、発表する人だけでなく、聞いている人も静かに話を聞き、終わったら拍手をする姿勢からも、「学校をよくしたい」という思いが伝わってきました。後半に行った学級目標の紹介では、各クラスの学級委員がとても熱心に目標に込められた想いについて発表しました。これからの一年間、この学級目標を意識しながらよりよい学校生活を送ってきましょう。

これからも、自分たちでよりよい学校づくりを目指して頑張っていきましょう。



オアシス運動 (生徒会担当)

5月11日(月)～13日(水)の朝、社会を明るくする運動で本町小学校、保谷小学校と連携したあいさつ運動(オアシス運動)を行いました。試験前にもかかわらず、どの学年も多くの生徒が参加し3日間で300人以上の参加がありました。活気あるあいさつの声が響き、賑やかな活動になりました。生徒からは「久しぶりに小学校であいさつができてよかった」「小学生がとても元気にあいさつを返してくれて嬉しかった。」という声がありました。保谷中生として、これからもあいさつを大切にしていきましょう。



のびる学級校外学習 (校外学習担当)

4月24日(金)、のびる学級では校外学習で江戸東京たてもの園・小金井公園に行ってきました。班ごとの事前学習では、目標や見学ルートを考えたり、公共の場での過ごし方を確認したりしました。

当日はたてもの園内を班別行動し、事前の計画をもとに回ることができました。建物や展示を見学することで、当時の人々の暮らしや生活について学ぶことができました。散策中は班員同士で声をかけ合ったり、時間を見つつ休憩を入れたり、仲間を気遣う様子も見られ、すばらしかったです。

班ごとにお弁当を食べ、午後は小金井公園でレクリエーションを行いました。企画・準備から当日のルール説明まで、中央委員が協力して行いました。丁寧な準備の甲斐あって、学級全体で盛り上がるレクリエーションにすることができました。

今回の校外学習での経験を今後の学校生活や行事の中で生かし、さらによりよい学級を作っていければと思います。

